（遞信省認可）　（日曜日休刊）　（定價二錢）

時事新報

第千六百七十一號
明治二十年八月廿五日　木曜日
舊丁亥七月七日　（壬、戌）
日出午前五時二十七分
日入午後六時三十七分
月出午前十一時五十二分
月入午後十時五十分
滿潮午前九時四十九分
滿潮午後十時十三分
（西曆一千八百八十七年）

時事新報

教育を政治外に置くべし

去月二十三日の勅令第三十七號文官試驗試補及び見習規則の公布は日本教育の前途に重大の影響を及ぼす可きものなり官吏を登用するに其教育知識を標準にするの點に於ては日本現行の學校教育法未だ充分ならざる處あるが故に差當り先づ之を改正するの必要起りて政府よりは各府縣尋常中學教科々程改正の件を各地方に傳へんとする由に聞けり是れは同規則の第四條に依り官立府縣立中學校の卒業證書を得たるものは普通試驗を受けずして判任官見習を命せらるゝの特許を有し、今後地方の官廳に於て判任官を要する塲合に其府縣中學校の卒業生を採用するは便利の方法なれば現行中學の教育科程には行政法理財學或は本邦法律官省簿記の如き官吏の資格に必用なる學問なきを以て今後新にこれを加へて中學校の卒業生は其儘判任官見習とするに不都合ならしめん旨趣なるべし此改正は實際に已むを得ざる次第なれ共中學教育の既往に溯りて議論するに抑も府縣中學の設立以後去る明治十四年の暮頃までは中學の教科書に經濟政治の類も多く物理化學の教育も相對立して時としては政法の學問却て理化學を壓するの趣きありしと雖も其頃政治社會の變動と與に共に中學の教育は突然面目を一新し經濟政治の教科書も更なり例へば歷史の如きものにても文明史は直接に政法の緣を繫ぐの恐あり憲法史は又政體の議論を學生の腦髓に吹き込むものありとして一切之れを排除し理化算數博物音樂なんど總て政法に關係なき科程を撰んで純然たる理學の門に學生を教導せんと欲し倫理道德の學にも尚ほ西洋の書籍を使用せずして東洋傳來の大學中庸を教授したるもあり其用意は全く學生をして政治の門に誤入せしめざるの要心に出で爾後今日まで中學の科程はその順序を失はずして依然たる理學門の藝能を傳へ來りし者なれ共文官採用規則公布の今日、特に各地方の屬官は其府縣中學卒業生中に就て徐々に採用すると便利ならんなど云ふ說の行はるゝ時運に會しては又々中學の教科々程を改正して其卒業生は普通試驗を要せず直に判任官の見習を命ぜられ得るの方向に之を改めざる可からず時勢の變遷とは申しながら中學教育の方向既往數年の間に著しき動搖を顯したりと稱すべきなり又獨り之れのみならず昨年頃までは各府縣に必ず一門以上の中學校あらざるなく時としては一地方にして三四校を設置したる所も尠なからざりしに同年、中學令の出るに及んでは中學校の設立は先づ地方の適宜といふやうなる姿となり府縣會に於ても俄に三四の中學を廢して一となし中には一校も殘さず廢棄せんとしたる地方もありて中學の教育大切ならずとの感觸を一般地方人に與へたる痕跡ありしに今回文官試驗規則の發表と與に中學校の卒業生は出身の道を開き地方の屬官には成る丈け其地方學校の卒業生を採用せんとするの實況なりとせば今日の中學にては其數不足なるが故に更にこれを增加せんと欲して地方の官廳若くは府縣會は昨年廢棄したる許りの學校を本年又々再興せんとするの狼狽なきにしもあらざるべし此の如く一片の文官試驗規則公布のために全國幾多の中學校に影響を及ぼして學科々程の改正より忽ち延て又其數の增加を促す成迹あるが如きは餘事は兎も角も教育獨立の點に於ては甚だ望ましからざる次第にして喩へば萬一外國人がこれを評して日本の教育は政治界の波瀾を免れざるものなりと言ひたらば我輩は之に對して如何の返答をなすべきや甚だ苦心する所なり

日本の教育が政治界外に獨立せざるの例は明治の初年以降今日まで十餘年の其間に教育主義の時々變動して一定の結果成迹を見ると能はざるに照らしても明白ならん凡そ人事の經驗は利害交々混同して永遠の長計を一朝夕に辨別するは六ヶしき次第なれ共既往の成功に基て將來の針路を定め又其失敗に懲りて向後の策と誤まらざるを務むるの外なる可らず例へば教育の如きも既往の經歷斯く〳〵の方向主義を取りたるがゆゑに又云々の結果を生じたりと之を龜鑑にして將來の針路を決するは極めて大切なる事なれども日本從前の教育法は甲に變り乙に移りて其主義の轉換に忙はしきがた先是れぞと云ふ可き成迹經驗を遺して後の教育家を稗益する能はざりしのみならず人々殆んど五里霧中に彷徨して唯だ想像の裏にその方針を決するの觀なるは學問教育のために悅ばしき事柄にあらざるなり蓋し教育の一事は古來獨立の困難なる事業にして或は宗教の下に立ち或は政治の支配を受けて今日に至りしものなれ共人文開明の世界には教育はまた教育として獨立すると大切なり往時西洋諸國の如く宗教家に學問教育の全權を委ぬるは危險なりと雖も東洋諸國の如く政治を以て教育に干涉するも亦甚だ好ましからず然るに日本の學校教育は古代の事は暫く問はず中世この方の處に於ては皆政權を本にして教育となし政府の手を離れては其事擧らずと爲したるは全く支那儒道より出でたるの結果ならん支那に於て庠序の設けより順次高尙して國學に入るの經緯は恰も今の小中大學制の如きものゝならんと雖も早世より政府が人民の學事に干涉したると最も甚だしく其慣例制度日本に傳はりて我王朝隆盛の際にも教育は全く政治の支配を受けて後ち佛教の繁昌以來適々政權の弛緩に乘じて民間教育の事も僧侶の手に歸し後ち又儒道再興の時運に會して上等社會の教育は悉く治國平天下の儒論に併し下等社會の教育のみ僧侶の手に殘りたる姿なれども德川三百年の治世に加ふるに封建の制度を以てして藩々學制の布行悉く政治の支配を受けざるなく其浸沛一朝夕の故にあらざれば文明開國の今日も日本の教育が尙ほ政治の範圍外に立つ能はずして政海の波瀾これに動搖を及ぼすは勢ひの免れ難き所なるんか

（未完）

官報

○遞信省告示第百四十九號

昨十九年當省告示第百十五號水液類ノ見本ヲ交換スルヲ得ル國名へ「カメルウン」州（獨逸保護國）ヲ追加ス

但同國ハ獨逸國同樣水液ノ見本ノミヲ交換ス

明治廿年八月廿四日　遞信大臣子爵榎本武揚

○英國阿富汗境界劃定委員長の着京　英國の阿富汗境界劃定委員長陸軍大佐リッヂウェイ氏は倫敦より昨日聖彼得堡へ來着せしに依り兩國の委員は遠からずして再び該事業に着手すべし又右の談判は幾何の日子を要するや豫め明言し難しと雖も今ペーテルブルグル ツァイツングの報道する所に據れば數日間にて其局を結ぶべく且つ新境界は兩國民を滿足せしむるに足るべしと云ふ

（本年七月六日露國ノウオエ ウレーミヤ）

○水農工商務大臣　和蘭國水農工商務大臣ハンデンベルフ氏は病のため此程辭職したるに付バステル氏其後任に當れり同氏は元と下議院の議員にして著名の工師なりと去七月十五日附を以て在和蘭公使館より通報ありたり（外務省）

（以上本年八月廿四日官報附錄）

雜報

○七月中大坂府下貨幣の流通概況　大坂商法會議所に於て其筋の依托を受け取調べたる七月中同府下小貨幣の流通概況なりといふを聞くに十錢紙幣通用禁止後も左のみ非常の不便と感ずるとなく銀行、其他營業上金錢の取引稍々大なる向に至りては常に小貨幣の受拂を不便とせるものありしが故に却て小貨幣の少なきが爲め取引上利便を感ぜたるの觀ありし程なりと雖ども市中中等以下及び各郡村の商家小取引の向きは小貨幣の不足なりしが爲め概して不便を感ぜたるものゝ如く僅りに銅貨を以て之れを補ふなり故に銅貨の流通自然に頻繁と極むると同時に受拂上從つて小貨幣に不足を生じ銅貨受換打步は前月と比較して左の差違を來したり即ち六月に於ては百圓に付き賣方四十一二錢、買方二十八九錢なりしもの七月には賣方二十三四五錢、買方十三四五錢なりしとなせり

○明治法律學校　にては現擔任諸教師の外に法律學士木下廣次、同木下哲三郎の兩氏を雇ひ入れ講義錄を發兌せんと目下出願中のよし

○日本米穀輸出會社　神戶にて會社創立の企あるとは兼て本紙上に掲載せしところなるか追々其準備も整ひたる由にて創立事務所を兵庫縣下神戶區宮内町番外一番地に設き資本金を一百萬圓と定め株式の拂込みを五回として汎く株主を募集するよし右株金募集取扱所は大坂土佐堀通三丁目第廿二國立銀行支店と定めたるよしなり該社の目的は社名の如く我國の米穀を海外各國へ輸出販賣をするものなりと云ふ

○海外のコレラ　カルカッタ八月一日發の報に印度の西北部に在るペシヤウール府にては頗る惡症の虎列剌病流行し七月中に同病に罹りて死するもの三百名の多きに至りたりとあり又羅馬八月一日發の報に據れば西々利のカタニヤに於て同病に罹り日々に死する者は十五名乃至廿名にて追々各地へ傳染すると云へり

○西伯利亞移住　本月一日露京セントペータースボルグ發の報に據るに近頃露國の農民は夥多群を爲して西伯利亞の西方に續々移住するに付ては或は農業上の恐慌を生ずるに至るも知る可らざるが故露政府は將に此移住を禁歇するならんといへり

○兵庫精米所　兵庫田家町の精米所は今度日本精米會社と改稱し株金五十萬圓を募集するよしなるが從來同精米所にて日々精米より生ずる糠の出高は一箇月平均三千五百俵位なれば今後益々事業を擴張すれば一箇月の糠の出高は少くも二萬俵以上に上るべく精米には重に九州產の改良米を用ひ海外への輸出を目的とし精米器械も既に外國へ注文し來年一月を待て同會社を建設する筈なりと

○大豆の蝸　近年埼玉、栃木、茨城等の地方には蝸蟲發生して大豆の葉を蝕害すると甚だしく其發生の期は各